

人形浄瑠璃

# 文楽

# 初春文楽公演

八代目竹本綱太夫 五十回忌追善

豊竹咲甫太夫 改め

六代目竹本織太夫 襲名披露



八代目竹本綱太夫

平成30年

1月3日(水) - 25日(木)

※1月15日(月)は休演

第1部 ◆ 午前11時開演

はなくらべしきのことぶき

## 花競四季寿

万才・鶯娘

へいげによこのしま

## 平家女護島

鬼界が島の段

八代目竹本綱太夫 五十回忌追善

豊竹咲甫太夫 改め

六代目竹本織太夫 襲名披露

## 口上

追善・襲名披露狂言

せつしゅうがっぼうがっじ

## 摂州合邦辻

合邦住家の段

第2部 ◆ 午後4時開演

ろうべんすぎのゆらい

## 良弁杉由来

南都 二月堂

志賀の里の段

桜の宮物狂いの段

東大寺の段

## 傾城恋飛脚

けいせいこいびきやく

新口村の段



豊竹咲甫太夫 改め  
六代目竹本織太夫

◆ 予約開始=12月3日(日) 午前10時~

◆ 窓口販売開始=12月4日(月) チケット売場 [午前10時~午後6時]

◆ ご観劇料 [各部・税込]

[1等] 6,000円 [2等] 2,400円

国立劇場チケットセンター

字幕表示がございました

国立文楽劇場 (大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号  
06(6212)2531(代表) <http://www.ntj.jac.go.jp/>

[摂州合邦辻] 玉手御前 撮影=青木信二



八代目 竹本綱太夫 五十回忌追善  
豊竹咲甫太夫 改め  
六代目 竹本織太夫 襲名披露

# 初春文楽公演

平成30年 1月3日(水)~25日(木)

※15日(月)は休演 演目入替はございません

## 第一部

午前11時開演(午後3時15分終演予定)

### 花競四季寿

はなくらべしきのことぶき

四季折々の情景を綴った景事「花競四季寿」より、太夫と才蔵の二人連れが家々を回って新年を寿ぐ「万才」と、雪が降りしきる中、驚の化身である娘が舞う「驚娘」をご覧いただきます。

### 平家女護島

へいけによこのしま

平家打倒の計画に連座した俊寛僧都・平判官康頼・丹波少将成経の三人は、今は鬼界が島に流刑に処された身です。成経は海女である千鳥と恋に落ち、祝言を挙げていくところに都から赦免船が到着します。使者の瀬尾太郎は平清盛の命により、俊寛一人を島に残すと申し渡します。悲嘆に暮れる俊寛に、副使である丹左衛門は途中までの同行を許すという平重盛の計らいを伝えます。喜んで船に乗り込もうとする一同ですが、瀬尾は関所の通行切手には三名とあると千鳥の乗船を認めようとしません。悲しみの余り命を断とうとする千鳥を止め、た俊寛は……。



### 摂州合邦辻

せつしゅうがっぼうがっじ

合邦道心夫婦が暮らす庵室では、河内国の城主に嫁いだ娘の玉手御前が年の近い継子・俊徳丸へ不義を働いたために成敗されたものとして供養をしています。その夜更け、館を抜け出した俊徳丸の行方を尋ねて玉手が現れます。俊徳丸との祝言を望む玉手の身勝手さに、斬りつけようとする合邦ですが、妻がとどめて娘を納戸へと連れてゆきました。合邦の元に匿われていた俊徳丸と許嫁の浅香姫は、庵室を出るところを玉手に見つかり、嫉妬のために浅香姫に乱暴を働く娘に、堪りかねた合邦はついに刃を突き刺しますが、玉手は意外な本心を明らかにするのでした。



## 口上

八代目 竹本綱太夫 五十回忌追善  
豊竹咲甫太夫 改め  
六代目 竹本織太夫 襲名披露

平成三十年は、戦後の文楽を支えた太夫の一人であり、近松作品の復曲も数多く手がけた八代目竹本綱太夫の五十回忌にあたり、これを記念して、八代目の子息である豊竹咲太夫が追善の口上を行います。併せて咲太夫の門弟・豊竹咲甫太夫が、綱太夫ゆかりの名跡である竹本織太夫を六代目として襲名いたします。

## 第二部

午後4時開演(午後8時15分終演予定)

### 良弁杉由来

らうべんすぎのゆらい

南都二月堂 水無瀬左近の奥方・渚の方は、志賀の里で忘れ形見の光丸を鷲に攫われて生き別れとなりました。それから三十年。我が子を探し求めて心を乱した渚の方は、南都東大寺の良弁という僧が幼いころ鷲に攫われ、成人して大僧正になったという噂を耳にします。東大寺に辿り着いた渚の方は、僧正が参詣のために毎日立ち寄るといふ二月堂の杉の木に、自身の身の上を書いた懐紙を貼ることにします。二月堂への礼拝に現れた良弁僧正は、その書き物を目にします。そして、渚の方が光丸に持たせた守り袋が証拠となり、三十年ぶりに親子の対面を果たすことになるのでした。

### 傾城恋飛脚

けいせいこいびきやく

大坂の飛脚屋・亀屋の養子である忠兵衛は、なじみの遊女梅川を請け出すために公金に手をつけてしまいました。死を覚悟した忠兵衛は、実父に会い、たさに梅川を連れて故郷の大和新口村へ向かいます。実家には戻られず、知人の家の中から父孫右衛門の姿を拝む忠兵衛と梅川。雪に足を取られた孫右衛門を、梅川は抱き起して家の中に招き入れます。介抱されるうち、梅川が息子の嫁と悟った孫右衛門は、養子親や世間に対する義理と、子供可愛さの情に苦しむ胸の内を語ります。梅川の機転で忠兵衛親子は対面を果たしますが、追手が迫り、今生の別れに涙するのでした。



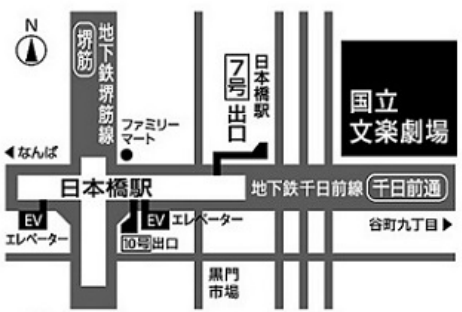
国立文楽劇場

初春 イベントのお知らせ

初日鏡開き 1/3(水) 第1部開演前(1階正面玄関前)  
黒門市場からの縁起物「にらみ鯛」を披露し、文楽人形による鏡開きの後、お客様に将酒を振る舞います。

まき手ぬぐい 1/3(水)~7(日) (客席)  
幕間に、舞台より出演者がまき手ぬぐいを行います。

十日戎 1/10(水) 第2部開演前(1階ロビー)  
今宮戎神社の福娘から劇場に福笹が授与されます。



国立文楽劇場 (大阪)  
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 06(6212)2531(代表)  
<http://www.ntj.jac.go.jp/>  
地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車7号出口より東へ徒歩約1分  
※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご注意ください。

予約開始 12月3日(日) 午前10時~

〈電話〉国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]

0570(07)9900/03(3230)3000 [一部IP電話等]

〈インターネット〉<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]

窓口販売開始 12月4日(月) [チケット売場 午前10時~午後6時]

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

ご観劇料 [各部・税込]

[1等] 6,000円 [2等] 2,400円

(学生 [1等] 4,200円 [2等] 2,400円)

※障害者の方は2割引です(1等のみ)。 ※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。  
※幕見席もございます。詳細は国立文楽劇場ホームページ又は国立文楽劇場チケット売場(06-6212-5845)まで。

プレイガイド  
12月3日(日)  
午前10時より

チケットぴあ……0570(02)9999 (Pコード 457-401) [パソコン・携帯] <http://pia.jp/>  
ローソンチケット……0570(000)407 (Lコード 58007)  
e+ (イープラス)……[パソコン] <http://eplus.jp/> [携帯] <http://eplus.jp/ntj>  
JR西日本(京阪神地区)の主な駅のみどりの窓口 ※12月3日は午前11時からの取り扱いになります。

関西から  
文化力  
POWER OF CULTURE